

地方創生 SDGs 金融調査・研究会(第 27 回)の開催結果について (概要)

○日時:令和 6 年 8 月 8 日 10:00-12:00

○場所:ハイブリッド(内閣府・オンライン)

○出席委員:村上座長、竹ヶ原座長代理、大久保(尊)委員、大久保(光)委員、金井委員、
重藤委員、千葉委員、富永委員、長谷川委員

○議事総括:

① 地方創生 SDGs 宣言・登録・認証制度ガイドラインの改訂・確定版の公表に向けて

- ・ 事務局より、第 26 回地方創生 SDGs 金融調査・研究会を踏まえた修正案について説明
- ・ 委員からの意見は次のとおり
 - 各ステークホルダーのメリットを具体化することには同意であるが、融資を受けられるという断定の表現ではなく、融資を受けられる可能性があるというニュアンスの方が正確ではないか。宣言・登録・認証制度構築により、必ず融資を受けられると誤解を招く恐れがある
 - チェックリストは参考であり、何が目的であるかを明確に記載したほうがよい
 - 広域連携について記載を増やし、充実させた方がよいのではないかと。方法はいくつもあるが、近隣自治体が先進的であれば、その自治体を参考とする例を具体的に記載してもよいのではないかと

② 指標例の制定に向けて

- ・ 事務局より、指標例の作成の目的や集計結果について説明
- ・ 委員からの意見は次のとおり
 - 指標例の活用方法として、これから制度構築をする地方自治体は指標例を参考に、評価項目の取捨選択を行い、地方自治体独自の評価項目を入れていくことが重要であると考えている
 - 自治体職員の目線で考えると、指標例があると制度構築が行いやすくなると考えている
 - 地方自治体が独自に設定した KPI との関係性を、各自治体にて解釈いただくことを期待
 - 指標例には取り組んで当たり前のような内容もあるが、指標例はあくまでも制度構築済み自治体の評価項目の最大公約数であるので、自治体側で指標例を取捨選択し、自治体独自の評価項目を加え、チェックリストを作成していただければよいと

考えている

③ 3. 先導的事例の調査・研究

- ・ 事務局より、先導的事例調査の目的や進め方及びロングリストの内容について説明
- ・ 委員からの意見は次のとおり
 - 今年度は事例の汎用性に重きを置いていきたい
 - 最終的な読み手が事例を探しやすいように、事例の掲載方法として、テーマや取り組みの座組等から探せる形式になっているとよいのではないか
 - 広域自治体が連携した事例等がもしあれば、自治体としても参考になると考えている

○今後の展開

- ・ 次回第 28 回調査・研究会に向けて、本日の指摘を踏まえつつ、表明された意見を取りまとめ、検討を継続する